

2023年 3月 卒後藤谷塾 議事録
開催日 2023年 3月 8日 (水) 7:00~8:00

■活動報告

- ①所属部署
- ②活動内容
- ③困っていること、その他相談など

【5期生】

A (神奈川県)

- ①集中治療室
- ②病棟管理
- ③特になし

B (東京都)

- ①脳神経外科
- ②病棟患者対応、脳卒中 A 初療対応、代行入力、特定行為の実施、多職種カンファレンス、NST 回診、NDC 研修生対応、重症患者初期支援
- ③特になし

C (東京都)

- ①診療部 診療看護師室 救急総合診療科
- ②検査・処方・点滴の代行入力、カルテ記載、入浴介助や口腔ケア・食事介助を行い必要な情報をチーム医師へと共有、救急外来から内科入院依頼がきた患者の初期対応、HCU 退室患者から病棟へのつなぎ(情報共有)、総合診療科同チーム内の患者管理、医師が外勤や外来等で不在時の対応、ルート確保困難患者のエコー下穿刺、他科依頼の PICC 挿入
- ③特になし

D (東京都)

- ①総合診療科
- ②コロナ診療、検査・処方などの代行入力、入院対応、病棟管理、特定行為の実施、研修生フォロー、病棟勉強会の企画と実施
- ③特になし

E (静岡県)

- ①看護部 看護部長室付け
- ②諸々の代行入力、内科の患者の管理、整形の地域包括ケア病棟の患者管理、脊麻の管理 ERCP などの医師の介助

③特になし

F (東京都)

①外来

②訪問診療同行、オンコール対応、院内緩和ケア対応

③特になし

G (神奈川県)

①総合内科

②病棟管理

③特になし

【6期生】

H (山梨県)

①看護部 整形外科→透析室

②透析室で研修、患者の回診同行・処置介助・代行入力・カルテ記載、特定行為

③なし

J (茨城県)

①内科、整形外科

②入院患者の受け持ち、検査指示出しなどの代行入力、救急車対応、救急搬送時の救急車同乗、
動脈血採血・評価、呼吸器管理、点滴・処方の代行入力

③特になし

K (三重県)

①看護部 感染症棟勤務

②レッドゾーンでの処置介助、静脈血採血困難患者・血液ガス評価必要患者の動脈採血、抜糸、
レッドゾーン患者の他科受診時の身体診察代行や検体採取の代行、検査・点滴代行入力

③なし

L (神奈川県)

①看護部 消化器内科・外科

②入院患者管理、診療録記載、主治医不在時の代理業務、検査・処方・注射代行入力、
看護業務応援、手術助手

③なし

■症例発表

□症例：もともと ADL 自立で介護保険も使用していない、頭痛、背部痛で来院した 70 歳女性

主訴：頭痛、背部痛

頭部 CT でクモ膜下出血の診断

鎮痛、降圧管理を開始した

- ・頭痛、背部痛で来院し、クモ膜下出血以外に鑑別は挙がったか。例えば大動脈解離など。
→医師より動脈瘤が以前指摘されていたためクモ膜下出血だろうという流れであった
- ・術後2日目に開始したシロスタゾールはエビデンスがあるのか
→血管攣縮予防にはなるが明確なエビデンスはない
- ・クモ膜下出血で背部痛も訴えている人は経験としてあまりおらず、CT でも出血像がないため
今回の症例で背部痛も出現することもあるのだと学んだ

□センター長より

- ・日本のプラクティスとしてシロスタゾールの明確なエビデンスはない。
- ・ガイドラインは調べたのか。どこまでエビデンスがあるか掘り下げていかないといけない。
- ・解剖生理学を考慮した症状の出方を考える必要がある。
- ・今回の症例に関連して、CT を撮るタイミング・条件がある。
→新規に疼痛が出現したとき、疼痛の症状が異なるとき
- ・放散痛のメカニズムを考えると、椎骨脳底動脈解離があった可能性はある。
- ・内服投与（指示）についても医師が言ったことだとしてもきちんと調べること。言われたことをそのままやるだけでは研修を受けていない看護師と一緒にいる。臨床推論を加味して対応していくことが大事である。